

平成30年第2回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	周辺施設、復興道路等被災者の生活に加え、地域インフラの整備も進んでいる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	仮設住宅がなくなった。建設・土木の新規高卒者への求人も減り、新しい工事もなくなりつつあって、復興も落ち着いてきてことを示していると感じる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	仮設住宅に住んでいたかなりの世帯が集団移転地に新築移転したところを見れば回復したと言える。私の地域の仮設住宅に残っているのは数世帯となっている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	女	被災後、就職した方々も就職先に定着し、順調のように見受けられる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	仮設住宅も撤去され、それぞれの生活に新しく入りそれなりに生活していると思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	一部地域を除き回復している。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	道路状況が津波前よりよくなりました。買い物、通院が便利になりました。生活がよくなったと思います。鉄道が開通すれば高齢者の方々も便利になると思います。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	求人倍率は相変わらず高倍率で、ある意味では震災前よりは景気が上向いていると感じる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	1.自立(力)再建、集団移転、公営住宅への移行が100%終了したこと。 2.雇用が進み漁業も回復し生活の安定感が感じられる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	仮設住宅に住む人がほとんどいなくなった。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	39歳以下	男	小学校の校庭にあった仮設住宅が撤去され来年度までには使えそうになってきた。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	仕事頑張ってます
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	震災前と変わらなくなったと感じるから。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	防潮堤が出来、津波タワーも設置された。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	堤防の整備、三陸復興道路の建設は順調に進んでいるように見える。周囲の方の生活、自分が見たり聞いたりする方々の生活も以前と同様もしくは同程度の生活まで回復しているようだ。復興というよりは今後のビジョンをしっかりと持って、街の活性化を図っていかねばならないと感じる。それぞれの立場で何が出来るかを考えていかねばならないと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	回復したと言える状態だと感じる
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	自分の周囲だけを見れば回復したように感じる。仮設住宅の取り壊しも進んでいる。一方、県営、市営アパートの家賃が払えないため出ているとの話も聞く。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	災害公営住宅の建設もほぼ終了し、移転が進んでいると感じる。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	仮設住宅は全て撤去され、公営住宅や自己再建し生活している。最近も中心街に店舗が再建されている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	大船渡市においては駅前周辺地区の嵩上げ工事が完成に近づいており、復興が実感出来る。一方勤務先の店舗は依然として仮設店舗にて営業しており復興完了とは言えない状況にある。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	市中央部での市民会館の完成や復興公営住宅、社屋の本設移転等動きが出ている。一方で東部地区鶴住居地区では計画の遅れが見られる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防災集団移転促進事業や土地区画整理事業がほぼ完了し、自宅再建や災害公営住宅建設が目に見えて進んできた。仮設住宅から公営住宅等に移る方が多くなり、ここ1年で仮設住宅入居者が1000人以上減った。しかし、未だ2000人程度が仮設住宅で暮らしている。中心市街地に店舗が除々に建ってきているが「にぎわいの創出」にはほど遠い状況である。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	仮設の再建がままならない方がまだ多数いる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	住宅等の建物については概ね回復しつつあるように感じられるものの、再建そのものを断念しているケースもあり、被災前まで回復したとは言い難いものがあると思われる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	私の住む高台地区(防集)には約9割の住宅が建ち、震災前の平穏を取り戻したように見える。しかし多額の住宅ローンを抱えている方もいるので返済が滞ったことを考えると心配な面もある。(住宅再建機構の住宅ローンの審査が甘いので...)住宅を再建するにあたって、補助金の増額があれば助かったと思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	女	雇用も含め地域経済は数字の上でも上向きに見えるがこれが復興の目安になると安心はしていない。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	基本的には29年7月調査と同じ理由。仮設住宅に入居を続けている世帯は再建を目指す住居の完成を待っているところのみで他の入居世帯は既に退去し、仮設住宅の一部解体が始まっている。復旧、復興関連の建設工事が峠を越え、事務所や宿泊施設が撤去され震災直後の様子が再現し、雇用の場が次々と消える中で職を失う人達が増えてきている。住まいの再建はほぼ完成に近づいており、今後は安定した収入が得られる就業の場の再現が大きな課題である。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	私事ですが自宅を建設始めました。高台移転であり、周りにも大分家が建ちはじめています。なるべく早く引越しをしたいと思っています。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	住宅再建者が増えてきている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	災害復興公営住宅が完成、復興団地が造成され自宅建築などで仮設住宅からの転居者が増加したことは、復興の証といえる。しかし町中心部の移転団地造成がかなり遅れた。第3団地造成が急ピッチで行われている。私の住んでいる関谷担い手仮設団地現在の世帯の多くは、第3団地造成の完成を待っている。この事が終了してはじめて「1、回復した」に○を付けることになる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	住宅再建や災害公営住宅に入居し、仮設住宅利用者は少なくなり生活環境は改善されてきました。あとは高台移転のための土地造成工事の遅れのため完成を待っている被災者だと思われる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	日常生活はすっかり落ち着いてきていると見受けられます、ただ嵩上げの出来た土地に自宅や商店を再建となると金融機関での借入れに年齢制限又後継者問題など新たな悩みも出てきて仮設店舗で終わりにすれば残りの生活をしていくのに困るなど大きな問題に直面している自宅再建者や店主の方の話も聞かれます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	仮設住宅在住が6世帯となり今後9月には2世帯が自宅再建で退去となる。土地引渡しが来年(平成31年)3月の世帯もあり不安を訴えている。仮設から仮設への転居も(仮設の集約)いやではあるが考えざるを得ない現実がある。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	高台の新築住宅が増え仮設住宅の空きが目立ってきた。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	被災者の生活について自宅再建した方はすこし安定したようなので回復したように見えるけど、まだ仮設にいて再建できない方もすこしいるので今後が心配である。6ヶ月の進捗について防潮堤の工事が目に見えて進んできているのでもう少しだと思うのとダンプの交通量が減ったので進んでいるように思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	野田村前浜防潮堤及び都市公園
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	1復興住宅、学校等完成しました 2道路(生活道)まだです(来年)まで
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	町の造成もほぼ終わり、住宅の建設が一気に始まり、仮設からの移転が多く見られ、7割くらいは回復していると思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	高台移転者並びに公営住宅入居者の生活は落ち着いてきたように感じる。若干公営住宅入居者の3階4階の住民がエレベーターがない為、外出が少なくなりコミュニケーション不足になっている様に見える。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	だいぶ仮設住宅がなくなり、新しい町の高台に家が建ってきた。中心部はまだ出来てなく、これからどうなるのかわからない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	学校の校庭にあった仮設が撤去されたから。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	被災者の方の生活は落ち着いていると感じるので外から見るとあまり変わらず、家の中でどのように回復しているのかわかりません。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	道路や住宅等は着実に整備されてきている。知人のほとんどが仮設住宅を出て、生活をはじめている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	被災後にこの地に参りましたので、被災前と比較することはできません。嵩上げ地が住民の方々に引き渡されるなどし、住宅等の建築が進んでいます。道路の開通が進んでいます。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	仮設住宅から災害公営住宅への移転が進み、その他新築家屋も次々に完成し生活している様子が分かる。テレビを見ていると公営団地に住んでいる方々(特に一人暮らしの方)の他の人との交流の場や機会の充実が必要であると感じている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	知り合いの漁業関係者が新しい作業場でワカメや昆布の収穫作業をしていたことから「被害者の生活」は「やや回復」と答えたが、震災前にあった乾燥場、乾燥機の設備は再建されていない。その理由は働き手の高齢化と担い手後継者がいないため。震災の影響だけが原因ではないのだが。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	米崎・小友・広田地区で高台への移転・引越しが進んできた。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	新しい家も再建され街中に子ども達が遊ぶ姿を見ることができるようになった。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	39歳以下	男	地元の小学校校庭の仮設住宅がなくなり、運動会が校庭で開催できた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	仮設住宅もだいぶ撤去され残っている仮設住宅にも入っている人もわずかである現状から生活は前進しているように感じる。道路工事や線路工事などもだいぶ進んでいる様に見える。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	仮設住宅に住み続けている人はいるものの、自宅の再建や公営住宅への入居など確実に進んでいると思う。その反面、仮設にいる世帯の多くは高齢者であり自立がむずかしい状況であることも事実としてある。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	個人の生活をみると落ち着きが感じられている。しかし、住宅に関しては高田町をみると高台移転は順調に進んでいるが、かさ上げされた浸水地域には住宅の再建はほとんど進んでいないように見える。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	仮設住宅は縮小されたと思います。かと言って生活が回復したとは言えないと思いますが、家を建てる・公営住宅に行かれる方が多くなったのではないかと思います。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	かさ上げ、高台の造成も進み、新しい土地に家を建て入居する人が増えた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	震災で荒れていた土地も盛土をしてきちんと整備され、どんどん新築のお家が完成していている。震災をきっかけに子ども夫婦と一緒に暮らすことになった高齢者の方々は、安心感も得られ頼りになる存在がすぐ近くにいと喜んでいる。何も悪いことはばかりではなかったと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	土地整備が進み、住宅再建が加速している。仮設住宅も空室が多くなり、回復しているのは確かだと思うが、反面「売地」となっている土地もありその土地の利用等も考えなければ虫食い状態の街になると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	仮設住宅の入居者は確実に減っています。災害公営住宅の入居者が増えています。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	(1)地域の就業状況を見ると、以前のように生活するうえでの収入を得るために自分の意に反してまでも仕事をとることがなくなった。自分の条件に合った選択が可能となったように思う。 (2)この復興ウォッチャーは震災の前後に視点をおいて調査しているが、この調査を通して見えてきたものは、地域の活性化については元を質せば震災の有無にかかわらず行政をはじめ地域の住民皆が考えていかなければならないものではということだ。それを震災のせいにしてはいないか。そろそろ考え方を改める時期では。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	生活にも馴染んできて、良くなったように見えるが近所づきあいなどがなくなったという声を聞く。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	高台への住宅再建が進み、風景が変わってきた。復興計画が着々と進められて、人々の気持ちの安定も感じられる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	仮設住宅も集約化されてきてそれぞれ戸建住宅や公営住宅へ移り済んだ人達が多くなってきた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	雇用関係の数値が良い。高校生の地元就職も進んでいる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	住環境については、自力再建、公営住宅ともに完成、或いは入居済みで、ほとんどの方々が落ち着きを取り戻しているように思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	仮設住宅を退去し、ほとんどの方が自宅を再建あるいは災害公営住宅での新たな生活を手にされて着実に被災前の生活に近づいているようにみえます。しかし心を取りもどしている方がどれだけ居るのか疑問です。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤が出来ている所と出来ていない所がありどちらとも言えない。仮設にいる人が少なくなってきた。家内をガンで亡くしました。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	インフラ整備は日増しに進歩が見られる。しかし生活基盤整備及び生業の特に市街地への商店の開店はかなり遅く感じられ、市民の声からも不安視の意見が聞かれる。その原因として震災から7年も経過し、被災当時の考えと現在心境が大きく変化している(復旧工事に遅れに伴う将来の生業の不安感があるようである)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	高台に住宅は増えているものの、嵩上げ地にはまだまだ商店が足りなく、不便を感じることもある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	多くの方が仮設から出られてはいますがまだ回復したとは言えない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	同じ町内でも宅地の整備進捗に地域差があるが、仮設住宅に残っている方が少なくなっている。最後まで残っていた町中心部の宅地引渡しも始まり、家が建ち始まった。2年後にはほとんどの方が仮設から本設の自宅に移っているだろうと思えるようになった。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	住宅など住環境などは回復したが少子高齢のためか日が経つにつれ活気が薄れていくように思える。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	災害公営住宅も完成し皆住居の心配はなくなったが、今後の住宅の家賃がどうなるのか不安を感じている人達がいる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	竜崎防波堤の工事や閉伊川の水門工事の影響で湾内の環境が悪くなっている。このままでは湾内で漁業が出来なくなる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	仮設住宅が解体されないと回復感がない
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	被災前と比べれば回復したとはとても言えない。地域の活力は失われたままだ。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	沿岸部漁業経営者はそれぞれ仕事の種類にもよります。養殖ホタテ、ホヤ、貝毒などで販売中止で大変なようです。大型船は今年はずっといいさだ魚は値段よく大変喜んでます。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	三陸道の開通区間が広がってきて、移動する際には非常に便利になった反面、人の流れが変わり個人商店やコンビニなど苦戦していると聞く。地域の雇用まで影響が及ぶのではないかと危惧している。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	盛土した地区でまだ土地が返還されていない場所があったり、返還された場所も帰ってきて間もないので再建中や順番待ちの状態

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	仮設住宅は少しずつなくなってきてはいる。ただその後の生活についてはわからない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	自分だけを考えれば職を失うこともなく自宅も早期に再建できたので、「やや進んでいる」かもしれないが、職を失ったり仮設住まいのままの友人、知人を考えれば「どちらとも言えない」である。また津波後に避難したまま戻るに戻れない人たちのことも考えると「どちらとも言えない」である。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	住宅再建だけ見れば、ほぼ回復したように見えますが生活面での細やかなサポートが必要だと思います。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	仮設の期限があるので、建設ラッシュにはなっている。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	仮設住宅の撤去が進んでいる。復興住宅、新築した家で再スタートした方々も多いが、経済的・年齢などの理由から留まらざるを得ない方もいる。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	今年になって仮設住宅から退去する人が急に多くなった。周辺では宅地の造成がスピードアップし、併せて住宅を再建し移り住む人が目に見えて多くなった。(地域により差はあるが)
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	被災者の生活は被災前と比べると回復したとは言えないことが多いと思います。近所の人たちとの関わりが減り生活の中で外へ出ることが少なくなっていると感じます。

II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	今年の新規高卒求人が6月19日現在97件303人となっており、29年度年間求人数284人をすでに上回っている。事業所側の高卒者採用になみなみならぬ意欲を感じるから。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	一次産業に関係する基盤はほぼ完了している。農業の水稲栽培は国の減反政策も終了し、農家各戸に生産責任が移りTPPなどに対応が求められ業者は不安を抱えている。漁業は生活基盤整備はほぼ終了しているが、養殖種目によって流通の変化によって生産物が流通出来ない種目もある。また海況によって生産物の死滅などの種目も発生している。県内の水産物は全国でもブランドと言われる水産物が多いが、反面、単価の安い産地の物が先に流通する状況が進んでいる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	震災の苦しい思いの中から今を生きる漁業の皆さんは自然を相手の仕事ですが、良い製品を作りだそうと一生懸命で前以上の仕事ぶりです。家族共々協力して商品の販売にも工夫しながら取組んでいるなど良く話しておられます。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	地域経済が震災前より活性化している。ただ大船渡市の就業人口の半分以上を占める水産加工業が今後の先行きが不透明だ。手厚い補助金により施設や機械の大規模化を震災後進めたが、不漁や人手不足、流通大手による製品の買い叩きなどで震災前よりも生産規模を大きくした会社ほど固定費がかさみ先行きが不安になっている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	水産業は回復した。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	1農村面は回復した 2水産面はもう少し(海岸道路)
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	震災前と変わらなくなったと感じるから。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	普通に戻り、震災前となら変わらない。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	行政からの様々な支援のもと、コネクタ産業を中心に経済は回復している。ただし、漁業関係はここまで魚が獲れないのは想定外で不振である。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	39歳以下	男	地域経済は震災前と同じ水準に戻ったが、今後は少子高齢化や担い手不足といった問題がでてくると思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	震災で店を流されてしまった人が仮設店舗からどんどん新店舗を建設して事業拡大を図っている、間借りしていた会社の事務所も次々に独立している。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	まだ完全に事業されている方は元の生活に戻りきれていないと感じます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	3.11東日本大震災で被災した漁港などが復旧復興し、水産業発展の基盤が整備された。浅海漁業はある程度確保され、活気を呈している。しかし回遊魚の基幹魚種である「鮭・イカ」の不振は深刻である。温暖化現象で黒潮系の魚種が漁獲されるようになり、珍しさもあるが大量漁獲とはなっていない。以前にも述べたが、商工業にあつては、一昨年11月にオープンした「オール」の完成は、周辺の商圏域の活性化に繋がっている。が、災害復旧復興工事が進み中で、工事関係者人口減少が地域経済に影響が出始めている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	農林水産業は回復したと思います。高齢者が多く、人口が少なくなっていくのが気になります。養殖漁業をやっている人が少なくなりました。田については高齢のため自分で稲作をせず役場が決めた委託業者が稲作をしています。(ほとんど)
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	建設、建築業の業績良好が続いている。漁業の再生と生産量(養殖物)が回復した。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	水産業のほうはまずまず回復してきていると思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	盛土した地区はこれから
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	日常の生活に困ることはなくなったが、仮設店舗の方々が新たに店舗を再建するのをあきらめてしまうこともあるようだ。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	復興関連の工事が多い分、経済は回復傾向にあると考える。数年後にはどのような状況が訪れるかは私たちに予測できない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	地域経済の活性化、若年層の流出を防ぐための雇用の確保など魅力ある街づくり、地元に誇りを持てるような取り組みを考えていかなければならないと感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	差はあると感じますが、回復していると感じます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	飲食店は順調そうです。商業については集約され、立地によっては明暗が分かれてきているようです。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	中心市街地にお店が多くなった。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	各種産業において人手不足が深刻な状況ではあるが、震災前の状態へ回復して来ていると思います。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	仮設の住宅や事業所がまだ残っている。本設は進んでいるがまだ完全ではない。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	被害を受けた水産業についてはその後徐々に設備等の回復が進んできたものの、この地域では台風被害の影響が未だ大きく残っており、被災前との比較では十分な回復には時間を要するものと思われる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	女	既存の企業、事業所の努力、若者の新規事業への挑戦が見られる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	宇部川地区は場整備事業、工事面積80haの全面積で田植えが行われた。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	回答することが難しくなっている。経済自体は回復基調にあり、フェリー就航もあり今後も様々期待されることもあるが、いかんせん若者が震災以降地域と離れて住宅を新築し生活をしている為、慢性的な人手不足状況にあり、事業を中止しなければならない事業者が出る可能性が出ている。子育て対策等のこまやかな対策による若者に選ばれる町づくりが必要。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	新しい店舗が増え、回復期は続いていると思います。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	土木作業の進み具合は、工事の様子やトラック等の流れ(台数・混み具合・コース)を見てるとどんどん進んでいると思う。しかし将来的にはこの状態が変わっていくことで経済がどのように変わっていくのか不安でもある。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	陸前高田の浜に活気を感じる時が増えてきた。かきむきや浜の作業のため海で働いている人が前より多く見られる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	問1でも回答したが、今は震災からの復興特需で潤っているが、復興終了後の地域経済を俯瞰すればこのままの状況で推移するとは思われない。とすれば、行政や住民一体となって地域の将来像を論ずる時宜ではないか。少しでも余裕ある今だから。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	再建した店舗で営業しているところもあるが、震災後からずっと仮設店舗のままのところもある。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	宮古魚市場が広がったが、それほど魚があがっているわけではないと聞いた。農業はよいが、漁業は不漁続きで、施設は立派になってもあまり良い状況ではないと聞く。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	建物の建設も進み、着実に復興は進んでいると実感する。一方で水産業関連は近年の不漁もあり資金力や設備の充実度合の格差が際立っている感がある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	一見すると経済も元通りになった様に見えますが、やはりもとは戻ってないと思います。特定の業種だけが景気が良く、宮古の基幹産業である漁業は衰退の一途をたどっています。今後が心配です。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	住宅の新築工事が落ち着き景気が悪いような気がする。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	基本的には29年7月調査の回答と同じ理由のため。震災から7年3ヶ月が経過し、事業所の再建を果たし本格営業を始めた事業者と再建を断念し廃業を決めた事業所とか明らかになった。この状況下、地域経済の回復度を計る基準をどこに求めるのか判然とはしないが債権事業所数から見ると回復は4割程度で、売上げなどの業績は5割を下回るのではないかと推測される。今後は仮設店舗から本設事業所に移行した経営者が復興需要が激減し商圏の急激な縮小の中で難しい舵取りを迫られるのは明らかであり、経済の回復を実感することが出来るとは言い切れないのは実態である。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	高田のかさ上げ地区には昨年より店舗等が建設されているが、まだ仮設店舗で営業している方も多く、回復には程遠い状況である。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	漁業関係の生産体制のための環境は整備されたと思われませんが、町の基幹産業である漁業の不振で地域経済は活性化されていない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	農・水産に関しては震災の影響を意識しなくても良いのではと思えるぐらいになった。商に関しては街中心部の整備が遅かったこともあり、仮設店舗もまだ多い。本設の店舗のためには予算面など難しい人もいられると思われる。震災がなくても経営が厳しい店もあったと思うので、津波のせいとも言えないかもしれないが。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	漁港・農地等の整備が終わったが離漁家、離農家が多く、又後継者不足、高齢者化で今後の不安を覚える。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	漁業の活力は少しずつ減っているような気がする。鮭、鮑、するめイカの不漁が続き、マグロの規制など不安材料が増えるばかりだ。価格高でやっと支えられているようなものだと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	復興工事で仕事が終わりがつあるので、暇になった業者がある反面、町中の整備も進んできたので本来の生活に戻りつつあると思うけど、事業所によっては復興工事後の体制について悩んでいるようだ。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	もう少し働く場所、会社があればいいと思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	震災前と比べるとやや回復したと思うが6ヶ月前からは変わらないように思う。地域に道路工事等の関係者の方々が入ることから村内の商店はいくらかその方々の分の売り上げがあるのでないかと思う・・・
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	産直場や球技場等の新しい施設は出来ているが、人口も減少し活気が感じられるかは土日曜日である事に不安を感じる。海産物も取れない事が原因であろうと思うが地元に住んでいても高価で食べられない事等にも不安を感じる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	漁師の漁が少ない。漁獲量が減少している。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	建設業でいえば、震災特需が減少してきたためにその分の売上減がでてきている。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	人口減少の影響が大きく、地域経済が回復したとは思えず、また、今後についても震災と地域経済の復旧・支援は困難と思料す。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	水産関連では社屋加工場の再建が震災前の水準まで進められているが、鮭・サンマ等の記録的不漁や慢性的な労働力不足により稼働状況は今一つである。安定継続的な従業員の確保が課題である。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	復興関連業種は震災前より業容拡大・体質強化しているが、その他業種は横ばいあるいは低調に推移。復興工事終了と人口減少は先行きに暗い影を落としている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	後継者不足や高齢化があり、又、サケをはじめとして不漁が続いており、水産加工業者も困っている。沿岸南部のある水産加工業者は魚不足のためレモン(業務用)をスライスして急場を凌いでいる現実がある。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	第一次産業は人手不足を叫んでいるが、今後も人口減の流れは続くので、人手不足を見越した新たな手を考えていかなければならないと思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	復興のための工事等は進んでいるが、地元の産業自体はどうなのか？わからない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	ここ2、3年はサケやサンマ、スルメイカなど宮古を代表する魚の不漁が続いている。それが解消されない限り回復したと感ずることはないと思う。フェリーの就航もどれほどの効果があるのか疑問に思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	防潮堤、津波タワーなどの整備は十分だが、浸水した地域のため他へ転居した人もあり、活気がなくなってきたように思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	一時は回復が進んでいるように思えたが、昨今の海産物の不漁があり経済的には足踏み状態かと思う。また、公共商業施設で営業されているお店の中には家賃を滞納している所もあると聞くと復興途中にも関わらず復興景気は終わったんだと感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	かさ上げ地に新しいお店が開店になったが、仮設商店から新設のお店が出来るまでは大変なことで仮設商店で閉店するのをよく見る。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	人手不足の企業が多いのは経済が回復しているのかなと思うが、どちらとも言えない。住宅再建に伴い、商業施設等も建設されれば回復しているように思えると思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	復興の仕事は多いようですがあと何年続くか不透明で不安です。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	大型商業施設はあるものの回復とは言えない。閉店するテナントもある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	復興道路の速やかな建設のおかげで移動がたやすくなったため、買い物を遠隔地の大きなお店でできるようになった。かたや、地元の昔からの商店街はますます廃れる一方である。新しく建てた中心市街地の商店以外の個人店舗は苦しい状況で気の毒。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	水産加工業者はいか、その他の魚はとれないので地域でとれる魚は少ないため大変です。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	被災前についてはわからないため。地域経済について変化を感じるものはありません。また震災と関わりはないと思いますが、漁業が不振のため回復されてないように思います。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	震災の影響だけではなく、人口減少や流通の変化など要因は様々考えられるが、商店街は全体的に厳しい経営に迫られているように思う。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	大型のスーパーだけに人が流れ商店街は景気が良いとは思われない。飲食外も同様で客足が伸びていないと感じる。企業の求人数が多くあっても無職の人が多く感じる。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	個人の商店再建はあまり進んでいないが、郵便局や文化センターが街中に完成し、私は出かけることが増えた。その施設を目的があって利用することはもちろんだが、バスの待ち時間をその場で過ごすことが出来、心にゆとりが生まれた。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	支援により漁船の配備や農地の復旧は完了したが、高齢化、後継者不足などで停滞しているように感じるし、復旧工事などの公共工事が終了したことで作業員などが引き上げ地元商店などの活気が薄れたように感じる。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	養殖漁業はだいぶ回復したが、販売がまだまだ回復していない。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	いつかは震災前と同じくらい回復するかと思っているが7年経っても変わらない。とつても不安!!
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	水田にあまり興味や関心が薄れてきた感じがある。震災前にはない雑草や虫が出ている。人を頼みたいがなかなかいない。中心地もまだ道路や工事で人がなかなか来ないように思われる。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	お店や楽しめる場所等については、となりの町と比較してまったく進んでいないように感じる。もっと魅力を発信していかないと人が戻るところから離れるばかりと思う。県の事業としての広域公園、楽しめる施設、子ども達が安心して遊べる場所等の整備をお願いしたい。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	大型店ではそれなりに集客があり、売上げもあると思いますが、個人商店は影響があると思います。(飲食店は売上が伸びているかと・・・?)被災地区での商店街が進んでない。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	大型店が新しく開店し、小売店は店を閉じているところが見られるため。

Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤及び第2線堤である県道の嵩上げ工事も完成した。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	防災設備は完成した。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	整備は十分だが、予想以上の自然災害に備える住民の意識は一番重要だと思う。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	大船渡湾内の防潮堤工事も着実に進展しており、防災面の対策が着実に進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤、道路、避難地域の整備は進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・湾口防波堤の完成 ・一方で台風豪雨時は市内中心部の水没や住宅地での土石流の発生等が続いており、道路の嵩上げの終了による排水ポンプのフル稼働等は急務
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	実際に宮城県で被災したが防潮堤に万全はない。むしろ避難方策を万全にすべきではないでしょうか。万が一の場合、建物はあきらめざるを得ないので避難場所と経路の充実が必要と感じます。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	防潮堤については修復が完了しているものと見られるが、この地域においては台風被害のほうが大きく、防災面ではこの面での進捗こそ重要度が高いものと思われる。この面では河川工事を始めとした復興工事が未だ半ばであり、今後の進捗が待たれる状況となっている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤の建設が進んでいるが、完成までには時間があり、その間の震災発生には不安がある。最近では台風による増水もあり心配である。(台風は毎年襲来するので・・・)
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	かなりの範囲で防潮堤が出来た。また新たに高台を通る中間道の建設に向けて路線に沿って木の伐採が始まっている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	女	防災整備事業も次々と完了してきている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	高台や堤防がもう少しかな？まだ工事している所が見受けられます。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災後、生活基盤の高台移転整備が進んでいる反面、市内各地域の防潮堤が出来上がり海が見えない状況となり海の見えない街づくりに不安を感じる市民が多い。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤、嵩上げ地共に津波前よりは安全かなあと感じる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	嵩上げとか高台とか32年完成との事ですが、時間のかかりすぎに住民が外に出てしまうと思います。嵩上げ希望でも高台より2年も遅く成りました。完成が一部だけです。(どうしてか不明です)
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	巨大プロジェクトですから時間がかかるんですよ！事故がなく工事が進むことを祈っています！
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	やや進んでいると思う。ただし大雨の際はまだまだである。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の再建が遅れている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	尊い命の安心安全のための巨費を投じている被災地防潮堤工事「万里の長城」を思わせる巨大な防波堤が出現してきた。古来から海に親しみ、海を眺めて生きてきた。巨大防波堤で、自然が遠くなってきた。これでいいのか疑問が残る。良い方に向かうか悪しき方に向かうか、今後の子ども達の生き方が、どのようになるのであろうか予測不明である。自動車専用道「三陸道」のうち「山田～宮古」開通は現在約15分の短縮となったことは悦ばしい。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	山田湾の防潮堤工事が急ピッチで進んでいます。完成すると災害(津波)を防げると思います。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	安全な嵩上げの土地に公営住宅が建ち並び仮設住宅から引越し、我が家として落ち着いた様子です。町中心の嵩上げ工事が終わり宅地引渡しがこの3月に行われました。三ヶ月過ぎた今、なんとついに待ちに待った再建が軒並みに行われていて、工事屋さんの競争の様な賑やかさです。震災直後はこの地に再建は無理と誰もが思いました。当時はやはり海が非常に怖く恐ろしく感じました。それで海から離れた山手に土地を求めて自宅を建てた町民は多くあります。私もその中の一人です。今になり災害に心配ないすばらしい土地に生まれ変わったのを見て「待っていれば良かったな」という思いは少なからず聞かれます。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	防潮堤工事も90%程度進み、ハード面ではほぼ完成したがメンタル面で災害に対する意識がうすれてきたようだ(自分自身高台に住んでいるためか?)
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	沖防潮堤が完成して時化が来ても波の湾内への侵入をかなり防ぐことが出来るようになり係留している船の状態がかなり良くなった(安全になった)
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	39歳以下	男	海の見えない防潮堤が目立ってきた。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	野田村の防潮堤がもう少しで完成するものと思われる。防潮林の植栽も進んでいる。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	県内外の大学生が防災教育で訪問してくれたり、地元小中学校と防災をテーマに交流をしたりなど若い世代は更に下の世代に防災を教えるといったような動きがあり、非常に素晴らしいと思う。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	高田町の工事が進んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	街のかさ上げ工事がほぼ終わり、津波に対する防災は全体像がみえてきていると思います。しかし大雨や土砂くずれ等による災害が懸念されるのでその対応をしっかりと考えていかなければと思います。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	嵩上げ、防潮堤の整備は進んでいると思う。釜石から宮古の道路の整備も進んで便利になってきたと思うが、いくつかトンネルでラジオが受信できないのは防災上、問題があると思う。しっかり整備をお願いしたい。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤等の建設工事が進んでいると感じるから。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	防潮堤や道路、嵩上げなどの整備が目に見えて分かることで安全なまちづくりが進んでいると感じている。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	勤務地の防潮堤が完成し被災時に利用出来る道路も新しく出来たため。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	ようやく防潮堤が形になってきた。少しずつ安心できるようになってきた。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	目に見えたハード面は進んでいると思う。ただハード面だけの進歩にとらわれないようにしたい。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	9mの防潮堤に囲まれつつある山田町を毎日見ていると「やや達成」「やや進んでいる」であろう。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	39歳以下	男	やはり海が見えなくなるのはさみしい気持ちがあります。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	以前に比べ見える形としてなっていると思います。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	三陸道の整備が順調に進んでいる。かさ上げ、防潮堤の工事も目に見えて進んでいるようです。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	かさ上げされ、道路が新設され新しい町になってきている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	三陸道の工事が進み、開通する所が増えたので安全なまちづくりが出来ていると思う。三陸道が開通する事で車、人の流れが変わり、地域経済の影響が大きくなった。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	防潮堤工事が進み「すっかり海の見えない海のまちになってしまったな」という声が多くなった。道路工事も進み便利になったが「素通りされない街づくりをしなくては」という声も聞く。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	大船渡市では防災観光交流センターが建ち、市民や観光客が自由に見学できる。防災意識が高まると期待される。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	防潮堤の一部を除き、ハード面の工事は全て終わり、日常の安心の度合いはかなり感じられるようになった。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤・水門工事が進んできた。震災前のもよりはるかに大きい。大雨での避難指示等へのリアクションが悪い。時間の経過とともに、危機管理意識が低下している感がある。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	ハード面では進んでいるのだろうが、同じ規模の震災が起きた時全く被害を受けないといえる程ではないだろうし、ハード面が整うにつれスムーズな避難をする仕組み・意識がなくなっているように思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	女	安心、安全なまちになったことを実感できるにはまだまだ時間がかかると考えます。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	工事をやる人が毎日働いているので進んでいると思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤などは建設されてはいるが、まだ建設されていない部分もあり、災害に強いとはいえないと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	地域によって差はあるが、嵩上げ工事は進んでいると感じる。反面、海が見えなくなって淋しい感じもする。(防潮堤の高さ増により)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の工事は進んでいるが、完成まではまだ時間がかかりそうである。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の工事が進んでいるが工期が1年以上おくられている。早く安心、安全な町になってほしい。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	このごろ地震が多く、防潮堤の工事は進んでいるが今小さな津波が来ても被害があると思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	工事そのものは進んでいるけども、どれほど安全に結びつくのかわからない。漁業者にとっては津浪で船や資材が流されるのは当たり前のことで、命さえ助かれればその後のフォロー次第でなんとかなるので災害に強い安全なまちづくりというのがなんとなくしっくりこない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	工事がまだ完成しないので何とも言えないのと、今すぐ津波がきた時の避難方策や訓練が充分でないと思うので。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	女	防潮堤の整備に多くの人達が働いているがまだ完成していない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	工事の進捗状況に差が出ている。同様な工事業者によって人員等による遅れがあるのかもしれない。また地元では震災によって壊れた農地への橋がいまだに落ちずらされていない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤の工事中なので

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	防潮堤は出来つつある。でも年々人々の防災意識や危機感が薄れてきている気がする。ハードをいくら整えても最後は人間の行動。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	震災の記憶がある世代は意識が高いと思うが、記憶のない世代、または震災後に生まれた子たちは意識が低いと思う。震災のことについて学ぶ機会をもたなければならないと思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	堤防の設備、避難訓練の実施など様々な取り組みが進んでいる。これらの取り組みの継続とともに震災を風化させないための意識づくりを進めていくことが大切だと感じる。(震災は地震・津波だけでなく昨年の台風被害なども踏まえ想定外、不測の事態はいつでも起こり得るものであり、その時どのように行動すべきかを考える機会をもっていきたいものである。)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	防波堤や道路もまだ未完成なのでなんともいえない。今後は周知徹底と高齢者への支援が必要になると考える
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	ハード面は工事が終わらない限り達成したとは言えないが、確実に進んでいるのは確かだ。その反面、私たち自身の災害への意識の低下が懸念される。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	変化があったとは思えない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	道路が整備され避難路の確保は出来てきたと思うが、日々道路が変わり不安もある(通行止や迂回路)→県道ではなく市道。津波だけでなくこれからの梅雨に備えて河川の点検など災害に強いまちを作って欲しい。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤工事は今進んでいると思います。ただ、まだ時間を要すると思います。早期の完成を希望します。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	沿岸を繋ぐ復興道路の整備は順調に進みつつあるが、唯一内陸との連絡道路である国道281号の道路整備にいたっては、災害のたびに損壊・修理を繰り返しており災害時の支援体制に不安が残る。恒久的な対策は望めないのか。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	毎月同じ景色を見ている。達成していないのは確かと思うが、変わらないがために進んでいるのだろうかと感じることもある。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	土木工事は進んでいるが「安全な街づくり」からの視点では何ともいえない。県外ナンバーの車両(ダンプ、自家用車)が多く、運転が乱暴で怖い時がある。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	釜石、大槌においてはまだ防潮堤の整備が終わっておらず、まだ安全という実感はないと思います。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	防潮堤や復興道路の工事は進んでいると思うが安全なまちづくりは津波がきた場所に公営住宅が建っていたり自宅再建されている。なんとなく不安を感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	未だに中心市街地の道路整備が整っていない状況。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	平成29年1月と30年1月の調査の時の回答と同じ理由。但し、津浪の時に住民の安全の確保に重要な役割を果たす防潮(浪)堤の建設工事は少しずつ進み、平行して田代川水門工事も進捗しており、平成32年度の完成見込みとのことは明るい材料ではある。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤、水門工事の遅れが目立ちます。まだまだ完成まで時間を要すると思われるが、災害に強いまちづくりの為早期完成をお願いします。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	BRTにより、大船渡の湾奥から一番近い高台への道が分断された。人命よりもJRが優先だと云われた。避難道路より鉄道が優先の岩手県は立派な県だ。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	堤防は未完。山への避難道は鍵がかかっている日常登る(利用)ことが出来ないとの声がある。各地区に震災の記念碑や浸水深パネル等は完成し「忘れない」「備える」の環境は出来つつある。あとは一人一人が教えを心に刻み、行動に移せるようにすべき。役場前の横断歩道や信号、自転車通行かの標識は30年度末設置された。県道開通から1年8ヶ月事故がなくてよかった。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	水門工事はまだまだ時間がかかりそうだ。三陸沿岸道路も半分くらい、工事が残っている。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	まだ、みち半ばだと思います。道路の開通がやや進んでいることの1つの実感でしょうか…
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	道路の通行止めが多くあり、(高田松原、沼田海岸、小友両替地区等進行状況が把握できていない)
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	防潮堤の工事が遅れている。
達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	人は忘れていく生き物なのでしょうが、震災の記憶が薄れていく。防潮堤等の建造物だけ出来ても、人間の心構えが無いのでは災害に強い安全なまちづくりは出来ないと思います。
達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の嵩上げだけでは津波の被害は防げないと思う。
達成していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	災害に強い安全なまちづくり…多分、鶴住居地区の防潮堤は大きな津波がきたらまた乗り越えて町に流れてくると思う。防災意識の確認は必要と思います。(住民の)
達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	39歳以下	男	防潮堤等がなかなか完成しない
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	違いが感じられないためです。
わからない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	「何」を「いつまでに」完成・終了させるか等、住民にしっかり示してほしい。次何かが起こる前にちゃんと完成するのが住民は不安に思っているはず。
無回答	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤はすぐ出来ると思ってませんので安全な町になるように、なってくれればいい。

平成30年第2回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発行

平成30年9月7日
岩手県 復興局 復興推進課

〒020-8570
岩手県盛岡市内丸10-1
電話 019-629-6945

【自由記載集:掲載にあたって】

- ・自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。
(一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど、表現をあらためています。)